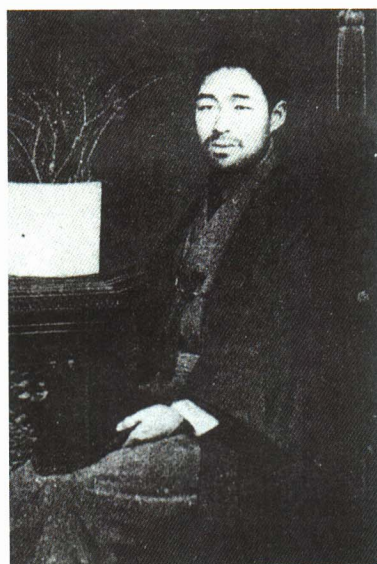


やがて、^{きょうりつがくしゃ}共立学舎が閉じられると^{えい}暎作は、^{おおくらしょう}大蔵省にはいり^{しごと}仕事に打ちこみ
ました。

そのころから、暎作は^{びょうき}病気のため、
からだの^{ちやうし}調子がよくなかったようです。

24歳の時、イギリス人のアダム・ス
ミスが書いた「^{こくふろん}国富論」という本を、
日本で初めて日本語に^{やく}訳すという仕事
に取り組みました。できばえがすばら
しかったので、^{たいへん}大変な^{ひょうばん}評判になりました。
た。

また、^{わたなべかなえ}渡部鼎（^{しさい}渡部思斎の子）たちと「^{ふじんそくほつかい}婦人束髪会」をつくり、
^{どうじ}当時、日本の女性が^{じよせい}まげを結っていたのをやめさせるための^{うんどう}運動をし
たりしました。



▲病気だったと思われる石川暎作
(田崎公司氏提供)



▲思斎をたたえた碑（野沢小学校庭）

1886年（^{めいじ}明治19年）暎作は以前
からかかっていた^{けっかく}結核という病気が
^{あつか}悪化して、たくさんの人たちからそ
の^{さいのう}才能をおしまれながら28歳とい
う若さでこの世を去りました。炎の
ように^{あつ}熱くもえた一生でした。

渡部鼎は、渡部思斎の子として、
1858年（^{あんせい}安政5年）に^{のざわはらまち}野沢原町村
に生まれました。石川暎作たちと^{けん}研
^{きどう}幾堂で学び、^{よこはま}横浜の^{たかしまえい}高島英学校へ入
学しました。

その時、研幾堂から高島英学校へ